

「インクルーシブな学校運営」通信 第15号

カリキュラム・マネージャー

オリジナルの「フリーズラグ」で共同学習 =保健体育科=

3月17日（火）の5・6時間目、「モデル事業」として初めての保健体育の共同学習が行われました。中高養1年生8名、更農1年生3名、更農2年生3名が参加しました。

準備運動のあと、前半は中高養の先生と生徒が意見を出し合いながら考案した「フリーズラグ」に取り組みました。「氷おに」とラグビーの要素を組み合わせたようなルールで、チームの戦略も問われる本格的なゲームです。歓声や笑い声が飛び交う中、思わず「真顔」になる場面も見られ、盛り上がりのあるアクティビティとなりました。

後半はキックベースボールを行い、お互いの好プレーをたたえ合いながら、スポーツならではの楽しさを味わいました。



授業開始の挨拶



フリーズラグの作戦会議・攻防



キックベースボール

○ 授業アンケート

学校名	生徒	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	合計値	【授業アンケートについて】 授業後、生徒は「授業を受けた後の感想として、似ているものを5つ必ず選ぶ」よう求められます。 2. 4. 6. 8. 14 の項目には +20 3. 9. 11. 13. 15 の項目には -20 1. 5. 7. 10. 12 の項目には 0 がそれぞれ配点されており、選んだ5項目に対応する配点を合計します。（最大値100 最小値-100） 合計は、授業における各生徒の、「内発的・即時的に動機付けられていた程度」を反映しています。
		あまりよく分かってなかった	よく考えることができた	ますます勉強がいやになった	新しいことがわかってうれしかった	かんたんすぎて、はり合いがなかった	もつとこの授業がつづけばよい	これという感じはのこっていない	とても楽しかった	家で勉強した方がよくわかった	つらかったが、ためになったような気がする	とても時間が長く感じられた	思うようにできなかつた	おさえつけられるような気持ちだつた	勉強のしがいがあるように思われた	だらけた気持ちもでずおもしろかった		
中高養	1		○		○		○								○		100	また体育したいです。更農の先生も参加してほしいです。
	2		○		○		○								○		100	また体育したいです。
	3		○		○		○					○					60	みんなとかかわれてよかったと思う。これからもう少しよに体育をやっていきたいと思いました。
	4		○		○		○					○					60	とても楽しかったのでまたこのじゅぎょうがしたいです。
	5				○		○				○				○		80	また更農と交流したいです。
	6		○		○		○				○						80	またやりたいです。
	7		○		○		○				○						60	
	8								○		○	○	○				-40	つかれた たのしかった めむい ※ STのコメント：とても頑張っていました！！
更農	9		○		○		○	○							○		80	今後また、中高養の方と交流できたらいいなと思いました。
	10		○		○		○	○							○		80	最初は仲良くなれるか不安でしたが話すことができてよかったです。
	11		○		○		○	○							○		100	やっぱりみんなで体をうごかすのは楽しいと思いました。またこのような機会があれば参加したいです。
	12		○		○		○	○							○		100	今日の体育の授業とても楽しかったです。また一緒に授業をしたいなと思いました。
	13		○		○		○	○							○		100	たくさんの人と交流ができて楽しかったです。新しい鬼ごっこなど発見があって勉強になりました。ありがとうございました。
	14		○		○		○	○							○		100	とても楽しかったです。また機会があれば参加したいと思いました。

愛着障害について研修 = 第7回共に学ぶ会 =

3月16日（月）の放課後、今年度最後となるオンラインでの「共に学ぶ会」が開催されました。両校合わせて11名の教員が参加しました。

会の冒頭、ファシリテータの先生から「このような生徒はいますか？」という問いかけ（下の表を参照）があり、更農側からは複数の生徒の名前が挙がり、具体的なエピソードが共有されました。

研修では、こうした生徒の行動の背景を、愛着形成に必要な3つの機能（「探索基地」「安全基地」「安心基地」）の観点から理解する視点を学びました。参加した先生方にとって、生徒理解への新たなヒントを得る機会となったようです。

	あらわれる行動	原因
① 愛情欲求行動	<ul style="list-style-type: none"> ■注目されたいためのアピール行動 <ul style="list-style-type: none"> ・痛くないけがでも痛そうに振る舞い、手当を要求する ・わざといたずらをする ・誰かのモノを隠す ■愛情試し行動 <ul style="list-style-type: none"> ・わざと相手の反応を引き出すようなふるまいをし、これをしても許されるか、叱られるか、叱ると怖いのかを試す。試した後は、人を見て行動を変える 	<p>【 基地 】</p> <p>の機能不全</p> <p>ポジティブな気持ちにさせてくれる存在がないことが原因</p>
② 自己	<ul style="list-style-type: none"> ■否認・自己正当化・他責・被害的他責 ・不適切な行動を指摘されても、絶対に認めない 	

（第7回「共に学ぶ会」資料から抜粋）

令和8年度の具体的な取組を検討 中高養

2月に両校でまとめられた「令和7年度の成果と課題」を踏まえ、中高養「交流および共同学習」委員会において最終年度の具体的な取組や改善点が話し合われています。主なものは次の通りです。

- ① 「インクルーシブな学校運営計画」を作成する。
- ② 「交流及び共同学習」全体計画を作成する。（中高養）
- ③ 「交流および共同学習」委員会に学科長を加え、主幹教諭が招集する。（中高養）
- ④ 「連携校の教育資源を活用した教育活動」実施要項を改善し、新たな「交流および共同学習」や人材活用を促進する。（「交流および共同学習」実施要項は廃止）
- ⑤ 「オンライン共同学習」は年間3回実施し、1学年のオリエンテーション、振り返りの時間を設定する。
- ⑥ 2学年の「交流学習」を更農で実施する。
- ⑦ 音楽科、美術科、保健体育科による「共同学習ウィーク」（3月予定）を設ける。
- ⑧ 「道の駅」植栽活動は「交流および共同学習」として実施する。（6月予定）
- ⑨ 「モデル事業」の公開研究会を実施する。
- ⑩ 生徒アンケート、教職員アンケートを実施し、3年間の取組を評価する。